

令和04年3月（第1回）岩倉市議会定例会

委員会代表質問通告要旨

1 片岡 健一郎 議員

1 食品ロス削減の推進について

- (1) 岩倉市は第5次総合計画における個別施策に「生ごみ等の減量化・資源化」を掲げている。減量化・資源化にはまず現状を把握し結果に対する施策が重要と考えるが、現状、岩倉市の家庭ごみの調査はどのように実施し、何を把握しその調査結果をどのように活かしているか。
- (2) 家庭から出る生ごみの中で食品ロスが占める割合を把握することは可能か。
- (3) 食品ロス削減については、家庭とともに市内飲食店や小売店が一体となって協力しやすい環境を整備することが、まずは重要だと考える。そこで岩倉市と市内事業者との食品ロス削減に関する協定を結んではどうか。
- (4) 食品ロス削減の施策の一つにフードドライブがある。岩倉市における現行のフードドライブの方式のほかにみんなの冷蔵庫という考え方の「コミュニティフリッジ」という先進事例がある。このコミュニティフリッジについて当局の見解を問う。
- (5) 食品ロス削減は、市民、商工、福祉、学校と多面的な側面があり、取組が担当課ごとの取組となっており、課の連携が十分とは言えないと考える。推進にあたっては、全庁的な体制を整備してはどうか。

2 ブランド野菜研究事業の推進について

- (1) 岩倉市はちっちゃい菜をブランド野菜と位置づけ、ブランド野菜研究として毎年予算化している。岩倉市がちっちゃい菜をブランド野菜として推進するに至った経緯はどうか。
- (2) ちっちゃい菜をブランド野菜に推進するとして10年以上取り組んできた。今後のブランド野菜研究事業のビジョンをもっと戦略的に分析して取り組む必要があると思うが、どのように考えているのか。他の野菜を研究する検討はしてきたのか。
- (3) ブランド野菜研究事業は市内の農業従事者への農業振興策ということだが、対外的なシティプロモーションとしてもちっちゃい菜を活用すべきではないか。
- (4) ブランドとして確立するためには多くの人に知ってもらわなければ始まらない。戦略を練るにあたり、例えば市民への種の配布、事業者へは店舗でのメニュー開発や加工品開発の促進と支援、行政としてはSNSを用いたレシピや作り方の動画配信など様々な施策が考えられるがどうか。
- (5) 今回、議会から市民の皆様に向け、ブランド野菜研究事業について意見を募集したところ、多くの意見と様々な提案を頂戴した。可能なものについては、今後の施策に検討していただきたいが、これらに対する当局の見解を問う。
- (6) ブランド野菜研究事業に対する予算額を増額して本事業に取り組むべきではないか。

3 五条川健幸ロードの除草対策について

- (1) 五条川堤の除草は現状、県が年 1 回、岩倉市が年 2 回実施しているが、市民からの声として除草が不十分という声がある。当局は現状をどのように捉えているか。
- (2) 除草についての改善策を現状持ち合わせているか。
- (3) 現在、健幸ロードは市民の皆様の交流や健康増進を図るための大切な遊歩道となっている。健幸ロードを気持ちよく利用していただくためにも除草による美化は重要と考える。例えば「花を植えましょう」と呼び掛けて除草につなげてはどうだろうか。現状行っている除草に加え、協働という理念から市の責任のもとで市民とともに取り組む除草対策を検討してみるのも一つと考えるが当局の見解を問う。